

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県・いわき市 】

学校名【 いわき市立平第五小学校 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	いわき市立平第五小学校 6年生 96名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	(1) パラリンピックメダリストからメダルを獲得するまでの苦難や努力について話を伺い、より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけず努力してやりぬく心を育てる。 (2) パラリンピックでのエピソード等について伺い、来る東京オリンピックに対する児童の気運を盛り上げる。 (3) 障がい者及び障がい者スポーツについての理解を深めるとともに、障がいをもつ人との共生について考える。
5 取組内容	(1) 事前指導 シドニーパラリンピック銅メダリストの増子恵美様を講師としてお招きし、パラリンピックでの経験等についてお話しいただくことを伝える。 (2) ボッチャ体験 講師 《福島県障がい者スポーツ協会》 丸山内雄大 様 ボッチャをすることで体を動かすことの楽しさや仲間とのつながりの大切さを教えていただいた。



	<p>(3) 講演会「私にとっての障がいとパラリンピック」 講師 シドニーパラリンピック 車椅子バスケットボール銅メダリスト 《福島県障がい者スポーツ協会》 増子 恵美 様</p> <p>①講演 障害を持った後に大切にしてきた自分を生かすという考え方や仲間の大切さについて講話をしていただいた。</p> <p>②実演 実際に車椅子バスケットボールをする様子を見せていただいた。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピックやパラリンピックに対する興味・関心が高まり、歴史や意義を意欲的に調べる児童が見られた。</p> <p>○障がいをもってからの苦悩や周りの人たちからの支援、考え方の変化、競技にける思いや出場権を得るための努力などの話を聞き、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まった。</p> <p>○ポッチャ体験を通して、スポーツを楽しむということはどういうことかを考え、進んで体を動かそうという意欲が高まった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○地元福島県出身のパラリンピック出場選手を招聘した。</p> <p>○児童の興味や関心を高めるために、講話だけではなく、実際に体験できる内容も加えた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○本事業を通して、困難に負けない強い心・前向きに努力する姿・自分を支えてくれる仲間たちの存在について児童の心に強く印象付けることができたことで、この教育目標への取り組みが、また一歩進むきっかけになったように思う。しかし、その学習効果を継続していくための方策が必要であると考える。</p> <p>○他教科との関連や効果的な学習方法等を検討し、全校的な広がりを進めていく必要がある。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、本校としても継続して実施していきたいと考えている。</p>